

景況・経営動向調査結果

平成23年度 第2四半期（7～9月）

目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答243社、回収率60.8%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

調査期間

平成23年9月1日～30日

調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

7～9月期実績は、全産業ベースで 47.5〔前回調査比+4.0〕
 10～12月期の見通しは、全産業ベースで 38.6〔今期実績比+8.9〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が縮小し、全産業ベースでは 47.5（前回（6月）調査比+4.0）と改善した。

一方10～12月期の見通しは、製造業で16.0ポイント、非製造業でも8.1ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは 38.6と8.9ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

7～9月期実績は、全産業ベースで 41.8〔前回調査比+2.5〕
 10～12月期の見通しは、全産業ベースで 30.8〔今期実績比+11.0〕

売上・生産額	今期実績	35.1 (+6.0)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
利益・採算面	今期実績	44.6 (-6.1)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
資金繰り	今期実績	23.8 (+0.7)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
設備投資	今期実績	28.7 (-1.8)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
雇用状況	今期実績	1.3 (-4.3)	来期は不足感が強まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで10期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	7～9月期 実績		10～12月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 41.8		▲ 30.8
製造業		▲ 37.5		▲ 28.0
非製造業		▲ 42.3		▲ 31.1
建設業		▲ 39.4		▲ 39.5
卸売業		▲ 56.0		▲ 38.4
小売業		▲ 42.5		▲ 31.7
サービス業		▲ 38.4		▲ 22.7
小規模企業等		▲ 45.0		▲ 34.4

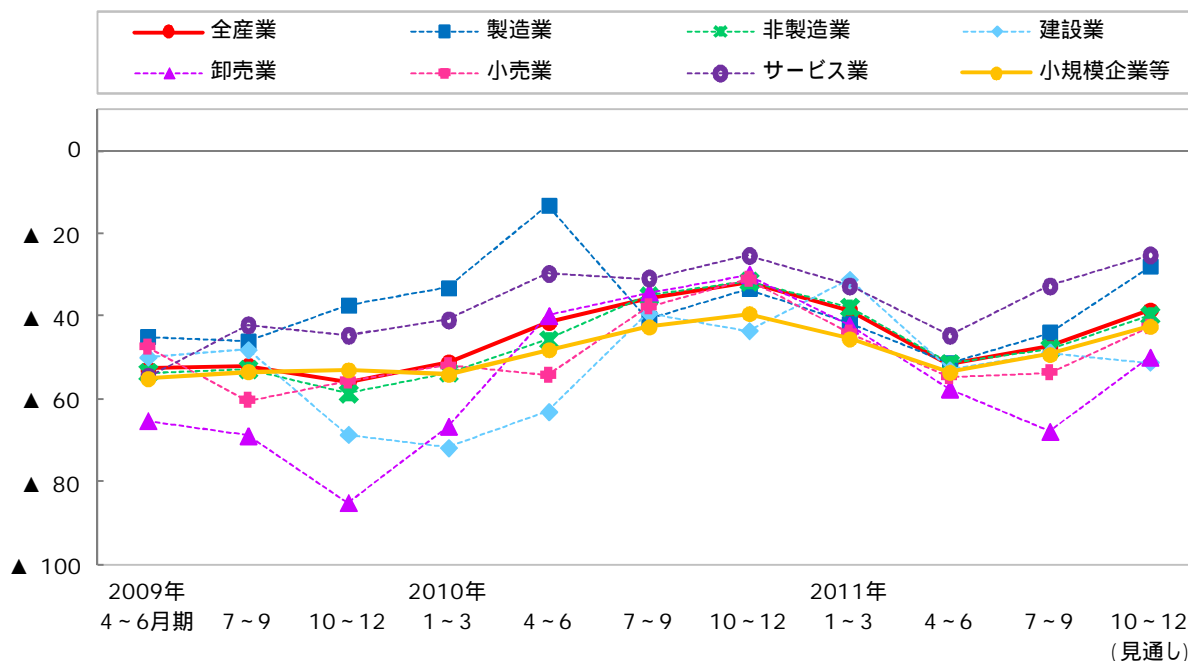
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
<p>全産業 47.5〔前回調査比+4.0〕</p> <p>業種別にみると製造業で 44.0（同+7.4）と改善。一方、非製造業では卸売業（同-10.3）以外の業種で改善し、非製造業全体では 47.9（同+3.6）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは3期ぶりに改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 49.4（同+4.3）となり、3期ぶりに改善した。</p>	<p>全産業 38.6〔今期実績比+8.9〕</p> <p>製造業で 28.0と今期と比べて16.0ポイントもの大幅な改善が見込まれる一方、非製造業でも建設業（同-2.4）以外の業種で改善が見込まれており 39.8と今期実績比8.1ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは8.9ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 42.6と今期と比べ6.8ポイントの改善を見込んでいる。</p>

B S I : 「上昇」 - 「低下」



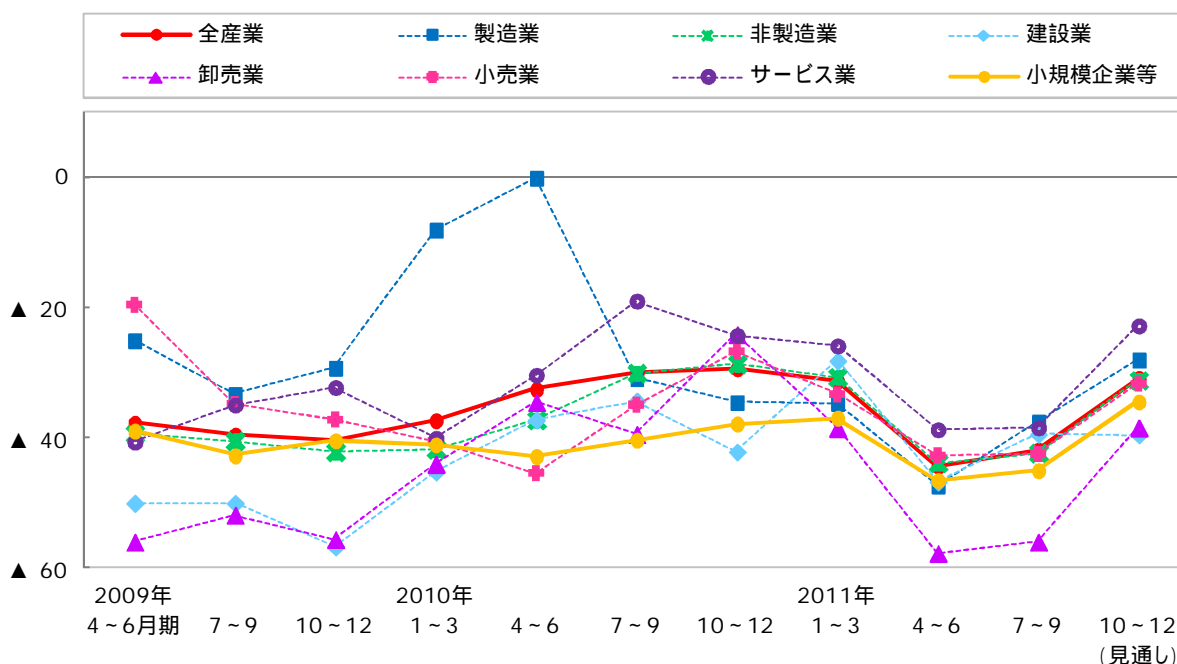
前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	B S I : 「上昇」 - 「低下」
<p>全産業 33.3〔前回調査比+11.8〕</p> <p>業種別にみると製造業は 34.7（同+12.5）と改善した。一方、非製造業では全ての業種で改善し、とりわけ建設業（同+27.5）の改善幅が大きく非製造業全体では 33.1（同+11.7）と大幅に改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 36.8（同+8.2）となり3期ぶりに改善した。</p>	<p>Legend: 全産業, 製造業, 非製造業, 小規模企業等.</p>

前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
全産業 41.8〔前回調査比+2.5〕	全産業 30.8〔今期実績比+11.0〕
<p>業種別にみると製造業は 37.5（同+9.8）と5期ぶりに改善した。一方、非製造業でも建設業（同+7.3）をはじめ全ての業種で改善し、42.3（同+1.5）と3期ぶりにマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは3期ぶりに改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 45.0（同+1.5）とマイナス幅が縮小した。</p>	<p>製造業は 28.0と今期と比べて9.5ポイントの改善が見込まれる。一方、非製造業でも卸売業（同+17.6）で大幅な改善が見込まれるなど 31.1と11.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは11.0ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 34.4と今期と比べて10.6ポイントの改善を見込んでいる。</p>

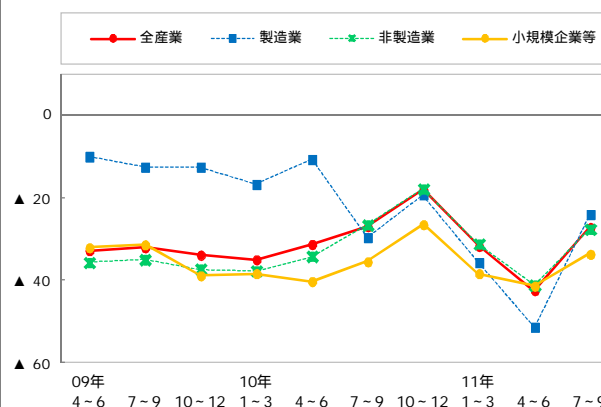
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績
全産業 27.2〔前回調査比+15.3〕
<p>業種別にみると製造業は 24.0（同+27.4）と過去最低値を記録した前回調査値より大幅に改善した。一方、非製造業でも建設業（同+38.9）や卸売業（同+26.9）の大幅改善もあり、非製造業全体では 27.6（同+13.6）とマイナス幅が縮小した。</p> <p>また、小規模企業等は 33.7（同+7.7）と3期ぶりに改善した。</p>

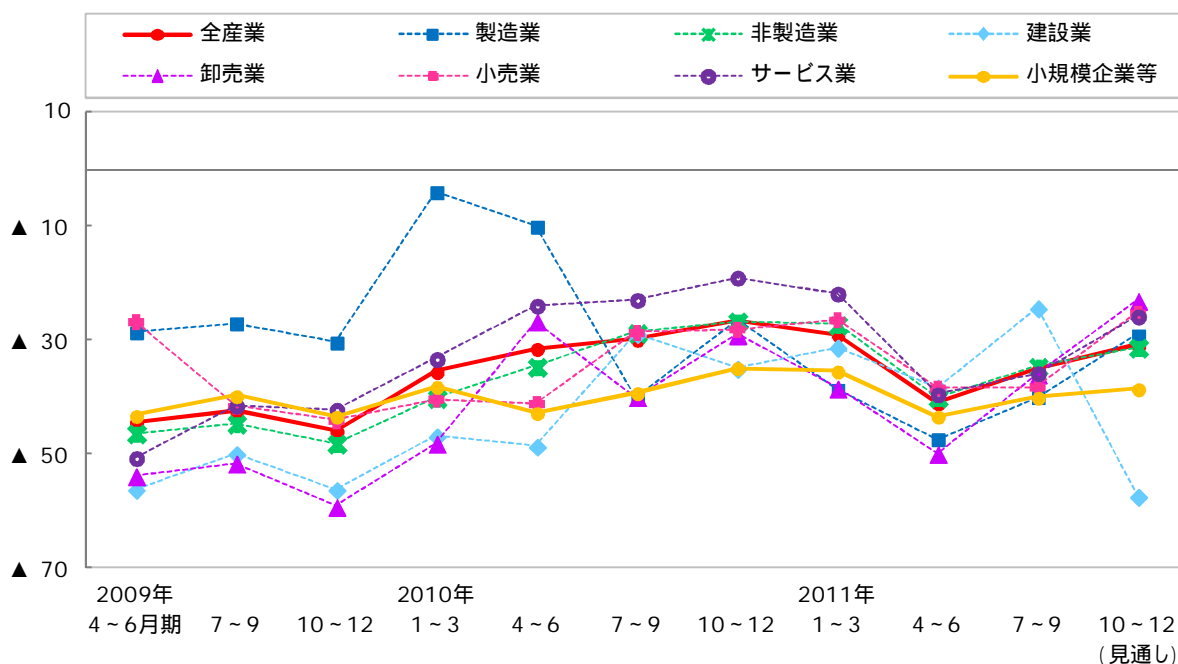
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
全産業 35.1〔前回調査比+6.0〕	全産業 31.0〔今期実績比+4.1〕
業種別にみると製造業は 40.0（同+7.4）と改善した。一方、非製造業でも卸売業（同+14.0）建設業（同+13.9）の改善幅が大きく非製造業全体では 34.6（同+5.5）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは3期ぶりに改善した。	製造業で 29.1と今期と比べて10.6ポイントの大幅な改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同-33.1）以外の業種でそれぞれ10ポイント超の大幅な改善が見込まれるなど非製造業全体では 31.3と3.3ポイントの改善見込みとなった。
また、小規模企業等は 40.1（同+3.3）となり、3期ぶりに改善した。	また、小規模企業等は 38.6と今期と比べて1.5ポイントの改善を見込んでいる。

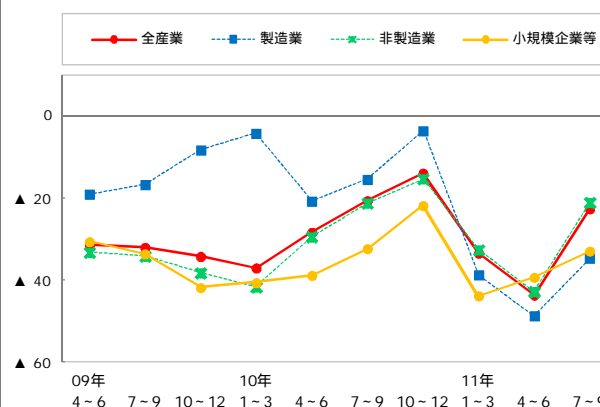
B S T : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績
全産業 22.6〔前回調査比+21.0〕
業種別にみると製造業は 34.6（同+14.1）と大幅に改善した。一方、非製造業でも卸売業（同+38.5）をはじめ全ての業種で改善し、 21.1（同+21.7）とマイナス幅が大幅に縮小した。結果、全産業ベースでは21.0ポイントもの大幅改善となった。
また、小規模企業等は 32.9（同+6.4）とマイナス幅が縮小した。

B S I : 「増加」 - 「減少」



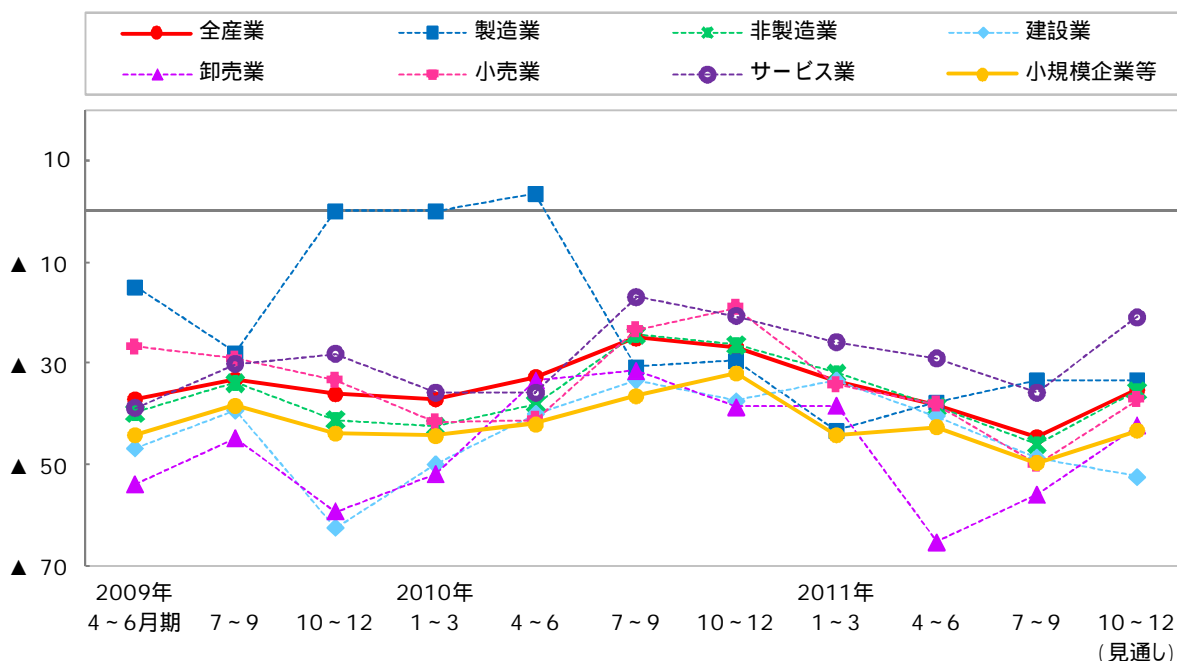
4

利益・採算面

前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績 全産業 44.6 〔前回調査比-6.1〕	2011年10～12月期 見通し 全産業 35.3 〔今期実績比+9.3〕
業種別にみると製造業は 33.4（同+4.4）と2期連続で改善した。一方、非製造業では卸売業（同+9.4）以外の業種で悪化し、非製造業全体では 46.0（同-7.3）と悪化した。結果、全産業ベースでは4期連続でマイナス幅が拡大し、過去最低値を更新した。 また、小規模企業等は 49.7（同-7.1）と過去最低値となった。	製造業で 33.3と今期と比べて0.1ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業でも建設業（同-3.8）以外の業種で改善が見込まれており、非製造業全体では 35.5と10.5ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは9.3ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 43.3と今期と比べて6.4ポイントの改善を見込んでいる。

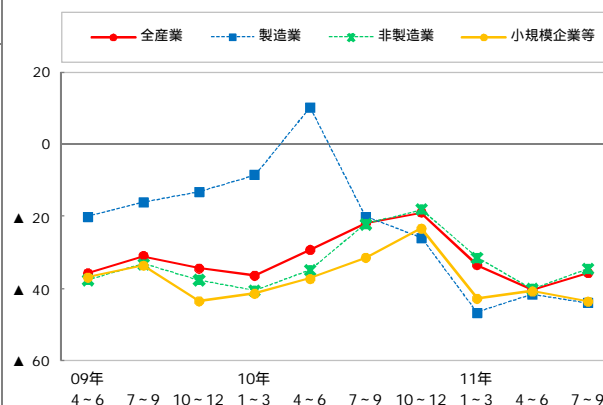
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績 全産業 35.6 〔前回調査比+4.7〕
業種別にみると製造業は 44.0（同-2.3）と悪化した。一方、非製造業では卸売業（同+33.0）の大幅改善もあり、非製造業全体では 34.5（同+5.6）と3期ぶりに改善した。 また、小規模企業等は 43.6（同-2.8）とマイナス幅が拡大した。

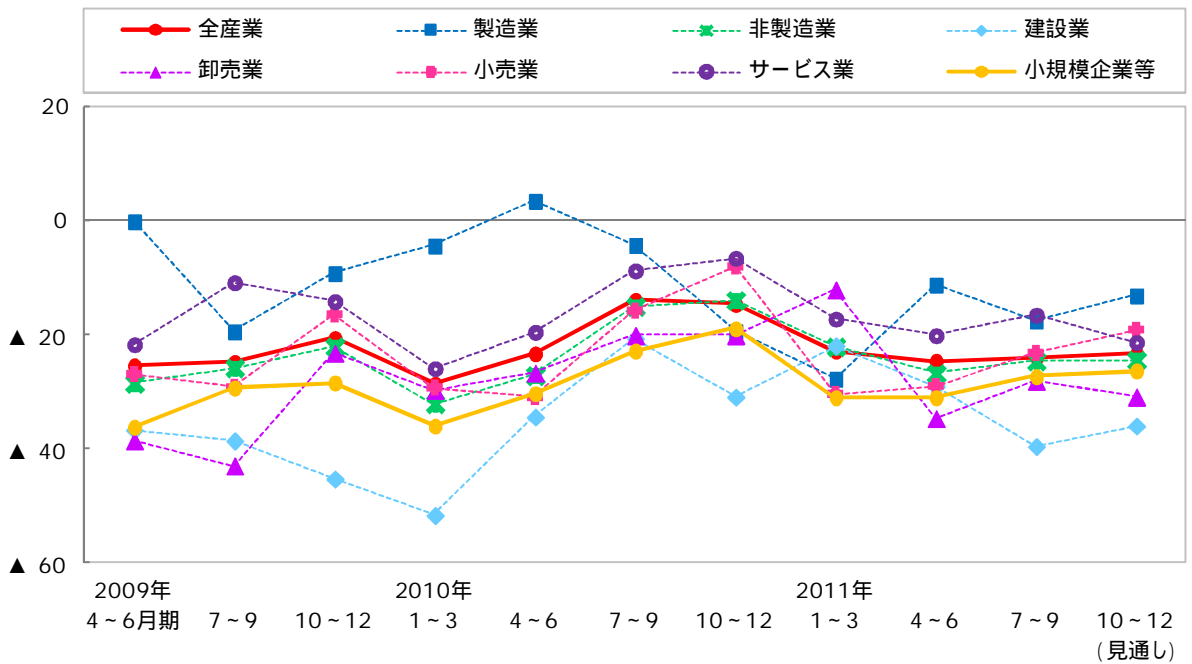
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
全産業 23.8〔前回調査比+0.7〕	全産業 23.2〔今期実績比+0.6〕
業種別にみると製造業で 17.4（同-6.3）と悪化した。一方、非製造業では建設業（同-10.6）で大幅に悪化したものの、それ以外の業種で改善し、非製造業全体では 24.5（同+2.2）と改善した。結果、全産業ベースでは僅かながら4期ぶりに改善した。 また、小規模企業等は 27.2（同+3.7）と改善した。	製造業は 13.0と今期と比べ4.4ポイントの改善が見込まれる。一方、非製造業では小売業（同+4.1）建設業（同+3.6）の改善見込みから、24.3と0.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは0.6ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 26.2と今期と比べて1.0ポイントの改善を見込んでいる。

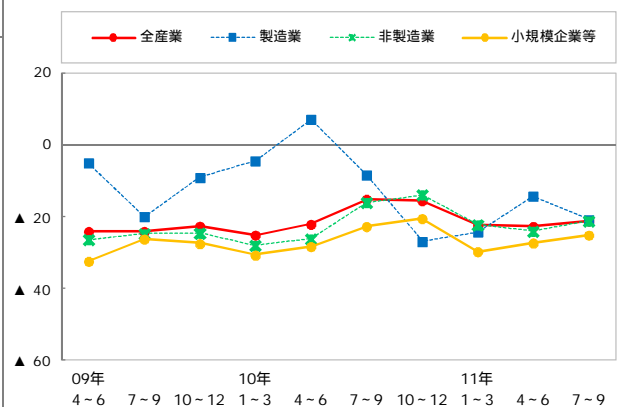
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績
全産業 21.1〔前回調査比+1.6〕
業種別にみると製造業は 20.8（同-6.5）と悪化した。一方、非製造業では建設業（同-7.3）で悪化したものの他の業種で改善し、非製造業全体では 21.2（同+2.9）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは4期ぶりに改善した。 また、小規模企業等は 25.1（同+2.2）と2期連続でマイナス幅が縮小した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

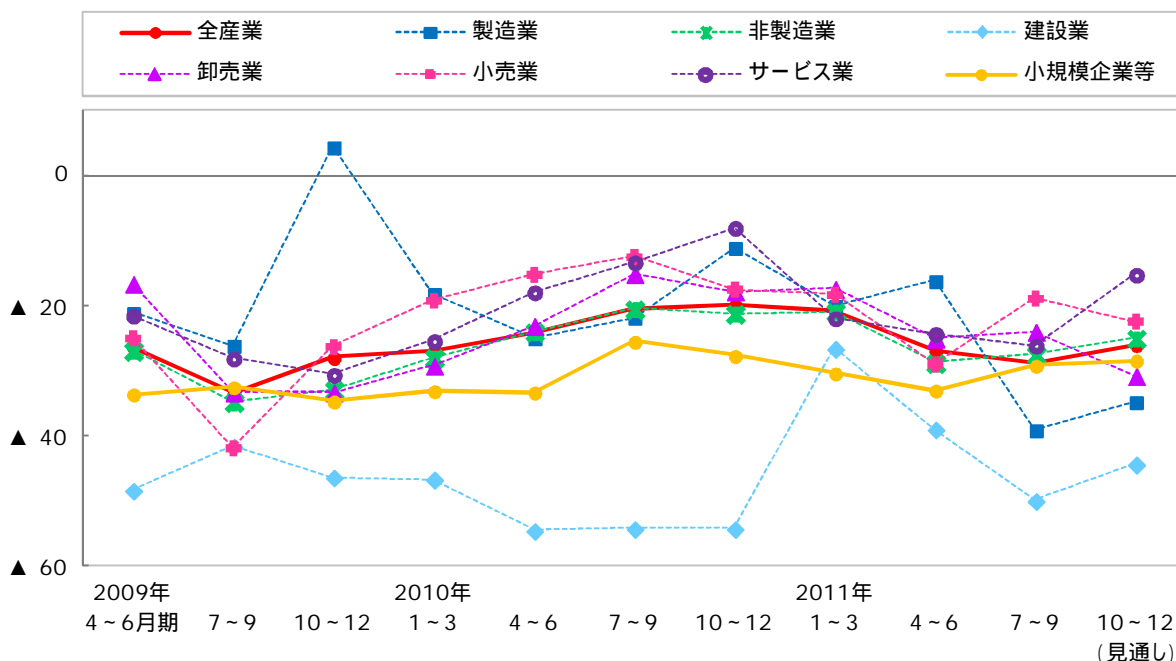


6 設備投資

前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
全産業 28.7〔前回調査比-1.8〕	全産業 26.0〔今期実績比+2.7〕
業種別にみると製造業は 39.1（同-22.9）と大きく悪化した。一方、非製造業では小売業（同+10.1）の改善などから非製造業全体では 27.5（同+1.3）と改善した。結果、全産業ベースでは3期連続でマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は 29.2（同+3.8）となり、4期ぶりに改善した。	製造業で 34.8と今期と比べて4.3ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業ではサービス業（同+10.9）で大幅な改善が見込まれるなど非製造業全体では 25.0と2.5ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは2.7ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 28.4と今期と比べて0.8ポイントの改善を見込んでいる。

B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年4～6月期）と比較して

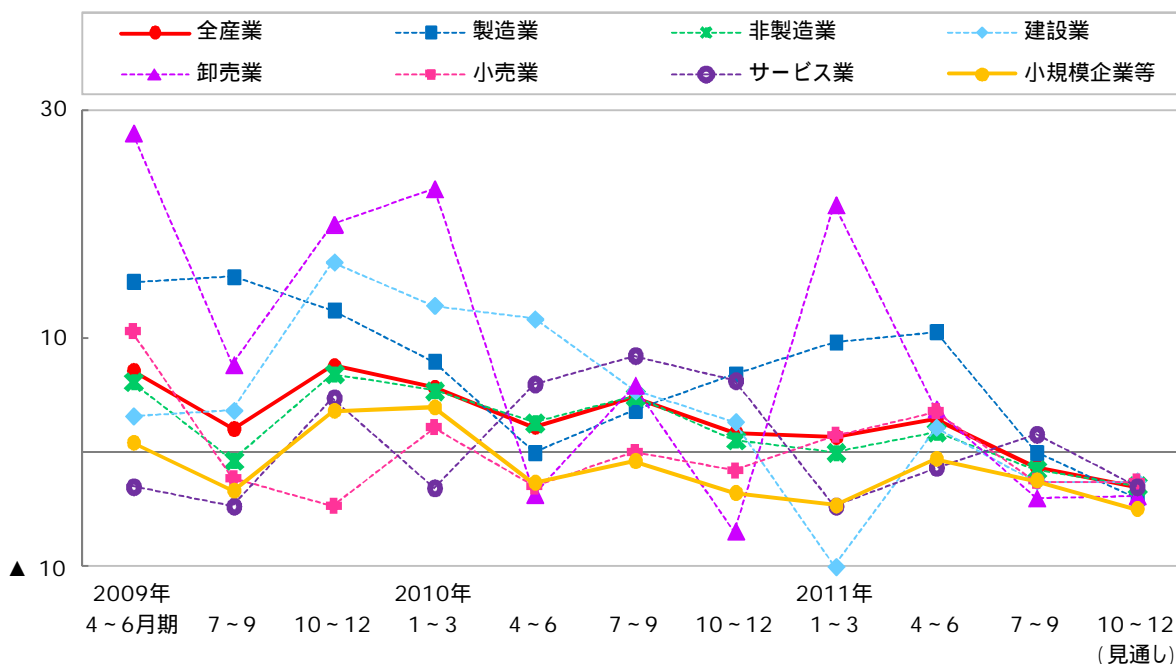
2011年7～9月期 実績	B S I : 「増加」 - 「減少」
全産業 26.7〔前回調査比-0.8〕	
業種別にみると製造業は 25.0（同-5.5）と悪化した。一方、非製造業では建設業（同-10.2）で大幅に悪化したものの、非製造業全体では 26.8（同+0.2）と4期ぶりに改善した。 また、小規模企業等は 27.4（同+5.2）と4期ぶりに改善した。	

7 雇用状況

前年同期（2010年7～9月期）と比較して

2011年7～9月期 実績	2011年10～12月期 見通し
全産業 1.3〔前回調査比-4.3〕	全産業 3.0〔今期実績比-1.7〕
業種別にみると製造業は「過剰」とする割合が大幅に減り、±0（同-10.6）となった。一方、非製造業ではサービス業（同+2.9）以外の業種でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど非製造業全体では「不足」とする割合が増えた。	製造業で4.0と今期と比べて「不足」とする割合が増える見込み。一方、非製造業ではサービス業でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど非製造業全体では2.9と「不足」とする割合が増える見込み。
また、小規模企業等は2.4（同-1.9）と「不足」とする割合が増えた。	また、小規模企業等では4.9と「不足」とする割合が増える見通し。

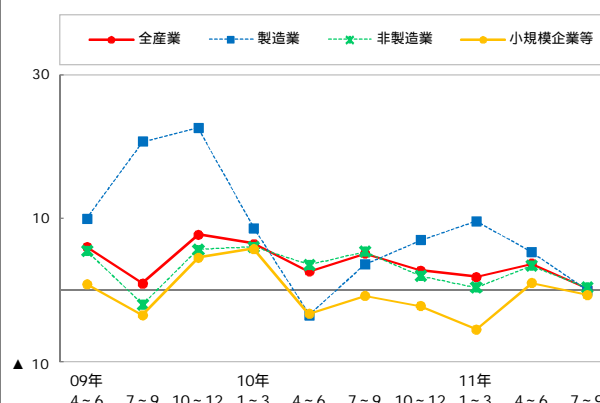
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2011年4～6月期）と比較して

2011年7～9月期 実績
全産業 0.4〔前回調査比-3.4〕
業種別にみると製造業で「過剰」とする割合が減り、±0（同-5.4）となった。一方、非製造業では建設業（同-11.6）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど、非製造業全体では0.5（同-3.0）と「過剰」とする割合が減った。
また、小規模企業等は0.6（同-1.7）とマイナス水準（「不足」超）に転じた。

B S I : 「過剰」 - 「不足」

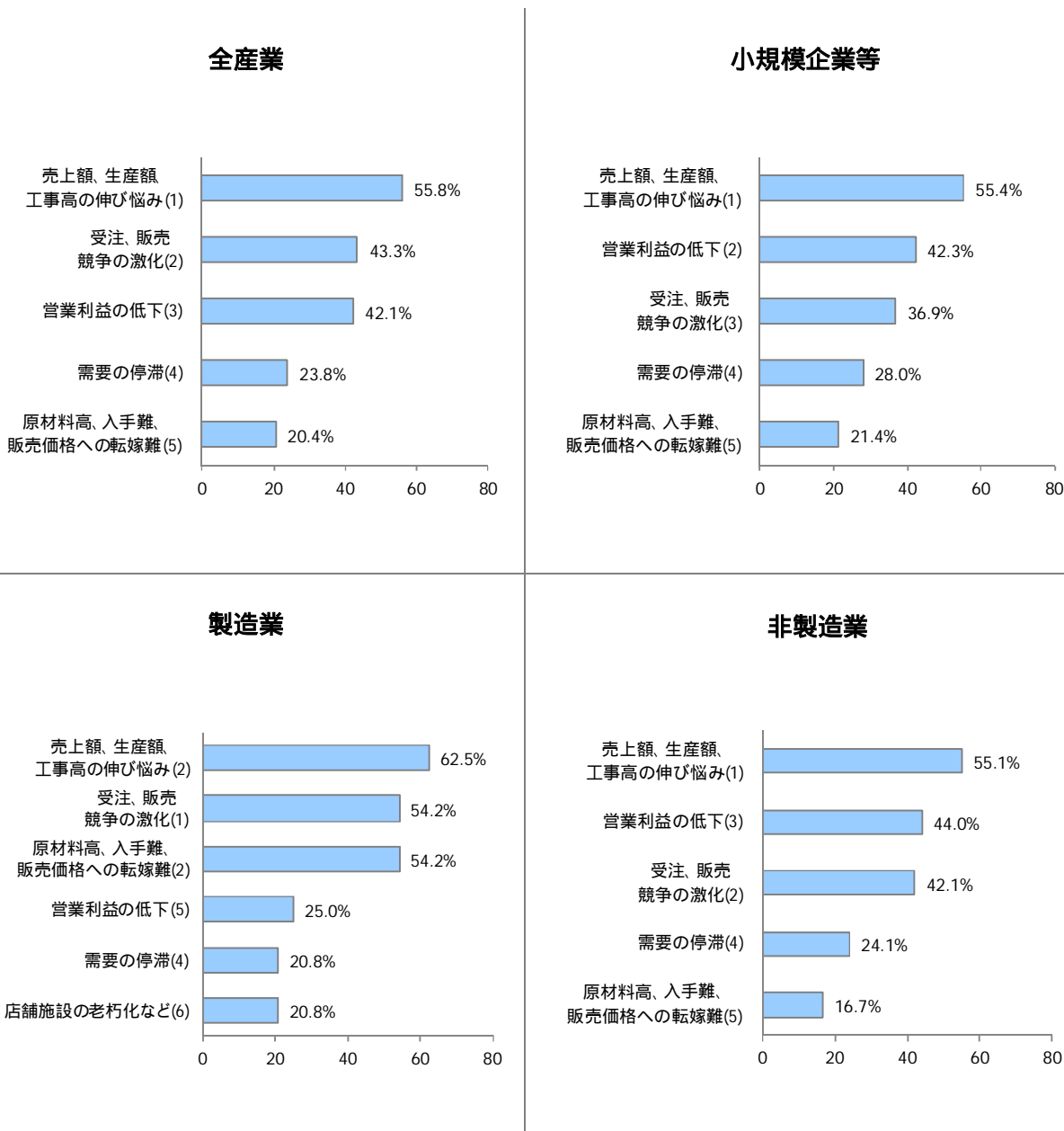


8

経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは前回調査から2.3ポイント減少したものの2009年4～6月期の調査開始以来10期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（55.8%）」となった。ただし、建設業では「受注、販売競争の激化（73.2%）」も同率でトップとなった。

その他の特徴的な傾向として、東日本大震災の影響もあり「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難」が製造業で第2位（前回調査比+8.5）となった。



各項目の括弧内の数字は前回（6月）調査時の順位

現時点（平成23年9月）での影響

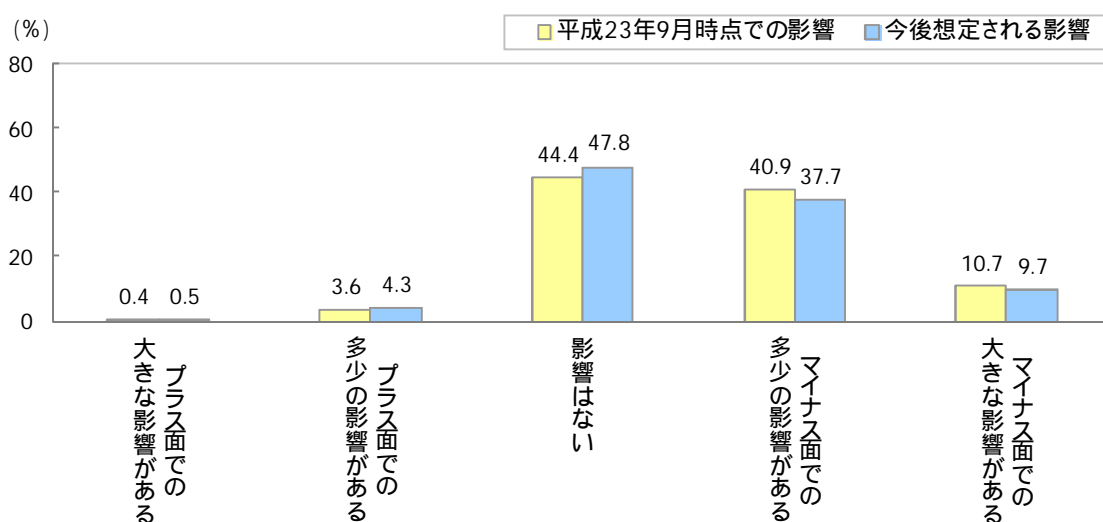
回答があった225社のうち「多少影響がある」が44.4%、「大きな影響がある」が11.1%、「影響はない」が44.4%であった。

影響の中身をみると、商品・資材等の入手難や納期遅れなど「マイナス面での多少の影響がある」が40.9%と最も多かった。一方で代替需要などから「プラス面での影響がある」との回答も僅かながらみられた。

今後想定される影響

今後想定される影響として「多少影響がある」が42.0%、「大きな影響がある」が10.1%、「影響はない」が47.8%であった。

影響の中身をみると、マイナス面での影響が現時点より弱まり、プラス面での影響が僅かに増える見通し。また、「影響はない」が47.8%で現時点より増える見込みとなった。



Q1. 現時点（平成23年9月）での影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある			多少影響がある			影響はない
			プラス	マイナス		プラス	マイナス	
全産業	225	11.1	0.4	10.7	44.4	3.6	40.9	44.4
製造業	26	15.4	3.8	11.5	34.6	11.5	23.1	50.0
非製造業	199	10.6	0.0	10.6	45.7	2.5	43.2	43.7
建設業	37	16.2	0.0	16.2	35.1	0.0	35.1	48.6
卸売業	24	16.7	0.0	16.7	50.0	12.5	37.5	33.3
小売業	75	6.7	0.0	6.7	53.3	1.3	52.0	40.0
サービス業	63	9.5	0.0	9.5	41.3	1.6	39.7	49.2
小規模企業等	156	9.0	0.6	8.3	43.6	0.0	43.6	47.4

Q2. 今後想定される影響

(単位:社、%)

	回答数	大きな影響がある			多少影響がある			影響はない
			プラス	マイナス		プラス	マイナス	
全産業	207	10.1	0.5	9.7	42.0	4.3	37.7	47.8
製造業	21	4.8	0.0	4.8	52.4	9.5	42.9	42.9
非製造業	186	10.8	0.5	10.2	40.9	3.8	37.1	48.4
建設業	32	18.8	0.0	18.8	46.9	6.3	40.6	34.4
卸売業	23	17.4	4.3	13.0	43.5	8.7	34.8	39.1
小売業	73	9.6	0.0	9.6	39.7	1.4	38.4	50.7
サービス業	58	5.2	0.0	5.2	37.9	3.4	34.5	56.9
小規模企業等	142	7.7	0.0	7.7	43.7	3.5	40.1	48.6